令和2(2020)年度　江戸川区立西小松川小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	○考える子　○やりぬく子　○明るい子 児童一人一人の個性と創造力を伸ばし、思考力・判断力・表現力などの資質と能力を高める教育を推進する。	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	「行きがいのある学校」(学びがい・働きがい・支援しがいがある) 学ぶ喜びを知り、落ち着いて考えて学ぶ児童、目標をもって努力し、最後まで課題を解決しようとする児童、進んで仕事をし、友達と仲良く元気に生活しようとする児童 敬愛され信頼される教師、研究・研修に熱意をもって取組み自己研鑽に励む教師、教育の専門職としての自信と誇り
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞　・学習意欲を向上のため、地域の教育力の積極的活用。　・「道徳」の校内研究を通して、主体的・対話的な学びを生かした授業づくり。 ・要配慮児童への共通理解に基づいた円滑な対応や健全育成を図るための関係機関との連携。　・校務改善計画に基づいた組織運営力の向上。 ＜課題＞　・巡回指導等の関係機関との連携の深化と指導力の向上。 ・要配慮児童への共通理解に基づいた円滑な対応や健全育成を図るための関係機関との連携。 ・主任教諭等の人材育成や児童指導力や保護者対応力の向上　・にしこスタンダードを基にした、誰もが共通した授業の展開。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	児童交流・教員交流・地域交流	教員交流…年間5回 児童生徒交流…年間3回 地域交流…年間1回	B	B	○教科等における指導観点の理解 ●感染症に注意した教員同士の連携強化	B	連携内容の理解・啓発ができている(5・6年保護者)	地域交流の内容と参加の仕方
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上　OJTの実施	電子黒板・実物投影機の活用 デジタル教科書(算数・外国語)の活用	ICT研修…年間3回　図形単元のICT活用の実施…学期に1単元以上・外国語単元のICT活用の実施…毎時間　OJT研修…年間30回	B	B	○OJTの計画的・意図的な実施 ●オンライン会議の効果的な活用	C	オンライン授業を実施して欲しい。そのための学習環境を整えてほしい。	オンライン学習に向け、計画的実施
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実・QUの活用	個別指導計画に基づく指導力の向上 QUの分析	巡回指導教諭と面談…年間3回 QU分析研修会…年間1回 QUテストの実施・授業改善…年間2回	A	A	○巡回指導教員、特別支援コーディネーター、心理士、担任、保護者との連携	A	校内で共通理解が行われている。 相談体制ができている。	個別指導計画の見直し方の改善
		主体的に問題解決に取り組む児童の育成	研修会及び研究を通して、主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する。	研究授業・・・年間6回　研修会実施・・・年間1回　模擬授業・・・年間6回　事前授業・・・年間6回	A	B	○児童主体の授業展開 ●感染症拡大の中で対話的で深い学びをする方法。	B	児童・教員の実態を考慮して、計画的に進められている。	児童の気付きを引き出し、さらに思考・判断を促す授業力の育成
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習教室の実施　都学力調査の分析・全国学力調査の分析、全校漢字計算テストの実施 Eライブラリーの活用	補習教室　年35回　都・全国の学力調査の分析・弱点確認　漢字テスト、算数ベーシック診断テスト全員実施と分析…年間3回　eライブラリーの活用…全学年	A	A	○ベーシックドリル診断テストの継続的な活用と各学年平均点アップ ○毎週のeライブラリの活用が8割以上。	A	児童の基礎的・基本的な学力を身に付けさせる努力をしている。	達成率8割を目指す
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	購入した本を活用した計画的な実施 ボランティアよる廃棄本の整理(600冊)	学習機能としての図書館活用の増加 児童の利用回数の増加	B	B	○図書室の配置を変え、機能性を高め、探究的学習の推進を図った。 ●感染防止を進めながら、本の活用をする方法の構築。	A	感染症に気を付けながら、本を読んで欲しい。	図書館の利用回数を増やし、探究的学習に生かす
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	運動遊びの計画的な実施 鉄棒・長縄・ランニングの実施	運動遊び…毎週　長縄・ランニング・短縄月間の実施…各年間1回1か月	B	B	○持久力を高める運動への取組 ●感染症拡大の中でもできる活動内容の工夫、持続性	A	体力向上につながる学習活動を充実させている。	健康や安全についての意識向上
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	スポーツ・文化・環境にかかわる取組、環境づくり	講師招聘(縄跳び・相撲)…年間2回 オリンピックの調べ学習…全学年 オリンピック掲示の作成	B	B	○日本文化の理解を重点とした取組 ●人権尊重の精神を育む	B	プロ縄跳びプレーヤーの方を招聘することで、児童の意欲が高まった	日本文化と外国文化の違いを理解するための取組
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	区内研究校の研究に意図的に参加し、校内にて伝達講習を実施し、共通理解を図る。	伝達講習会の実施…年間2回 研修会への参加教員数…5名以上	B	B	○英語ボランティアを招き、充実した授業の実施 ●ALTの効果的な活用	B	楽しく外国語教育が実施できている。(保護者)	ALTの効果的な活用
相談体制 健全育成の充実	健全育成の充実	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期発見・早期対応	いじめアンケート・いじめ発見時にいじめ対策委員会の実施・不登校の児童への家庭訪問	いじめ調査(年間3回)・不登校の児童への家庭訪問	B	B	○計画的・継続的な情報モラルの意識向上 ●日常生活におけるコミュニケーション能力の向上及び児童の実態に応じた家庭ルールの確立	B	学校は家庭と連携をとって児童に学習習慣を身に付けさせる努力をしている。	基本的な生活習慣や校外生活におけるモラルの構築
	保護者との連携	進路相談及び児童の健全な生活にかかわる相談体制の充実	食に関する指導、健康教育の充実、安全な学校生活づくり、面談時間の確保	スクールカウンセラー…毎週木曜日　心理士…年間10回	B	A	○保護者との連携を密にしながら相談を行っている。	A	学校は家庭が教育活動について意見を述べたり相談したりできる環境を作っている。	健康や安全についての未然防止及び保護者との共通理解
その他	地域との共有・協働	PTA活動、地域行事への参加、HP等による情報公開	地域をフィールドとした学習の充実、HP更新の回数アップ	地域行事への参加…全教員年間1回以上　HPによる情報公開…年間10回以上(学年)　セカンドスクール…50回以上　HP更新回数…年間100回以上	A	B	○学校の様子をHPの更新回数50回以上実施。	B	感染症予防して、地域行事の参加を行う。	地域の人材や施設等を活用した教育活動